

大飯発電所1号機の原子炉手動停止について (加圧器安全弁出口温度の上昇について)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所1号機(加圧水型軽水炉; 定格電気出力117.5万kW)は、定格熱出力一定運転中の1月9日から10日にかけて、加圧器安全弁^{*1}3台のうちの1台(C-加圧器安全弁)の出口温度が、通常範囲(～約70 程度)から上昇し、再度通常範囲に戻る事象^{*2}が発生した。

このため、監視強化を継続していたが、本日昼頃に当該出口温度が通常範囲を超え上昇する傾向を示していることから、明日夕刻、出力降下を行い原子炉を停止させた後、C-加圧器安全弁の点検等を行うこととした。

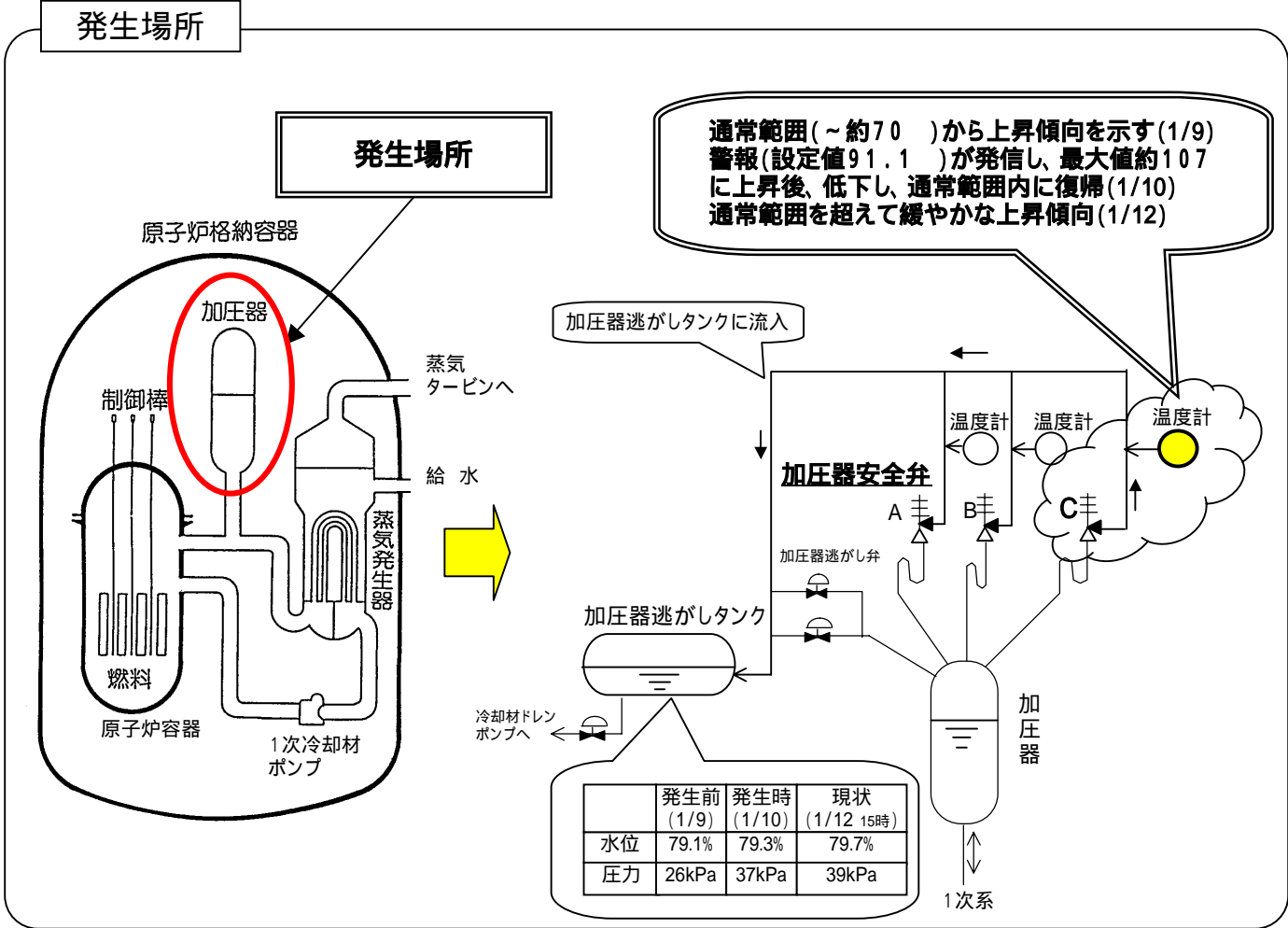
なお、加圧器安全弁からの1次冷却材を回収する加圧器逃がしタンクの水位と圧力が若干上昇していることを除き、格納容器内の放射線モニタや加圧器の水位、圧力等に変化はなく、その他の運転パラメータにも異常はない。

この事象による環境への放射能の影響はない。

- *1 : 加圧器と加圧器逃がしタンクとの間に設置され、加圧器圧力(通常値: 約15MPa)が高くなった時に、自動的に開放し加圧器逃しタンクに圧力を逃す。加圧器圧力が約16MPa以上になった時に開放する「加圧器逃がし弁」2台と、そのバックアップとして約17MPa以上になった時に開放する「加圧器安全弁」3台がある。
- *2 : 1月9日23時40分頃に、C-加圧器安全弁の出口温度が通常範囲を超え、上昇する傾向を示していることが認められたため、監視強化を行っていたところ、1月10日1時11分に「加圧器安全弁出口温度高」警報(設定値91.1)が発信した。C-加圧器安全弁の出口温度は約107 まで上昇したが、10日11時頃より下降し、12時43分に警報はリセットし、18時頃に通常範囲に戻った。

問い合わせ先(担当: 小西)
内線2354・直通0776(20)0314

大飯発電所1号機の原子炉手動停止について



加圧器安全弁構造図

